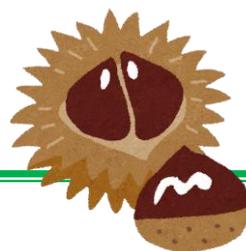


2年学年通信



薬物乱用防止教室が行われました



31日(木)、2年生を対象に薬物乱用防止教室が行われました。前半は学校薬剤師の蕪城先生から「薬物乱用とは何か」や「最近の薬物乱用の傾向」、「薬物乱用に陥らないためにはどうしたらよいか」等のお話を聞きました。真剣に聞き入る姿が見られました。

オーバードーズ
について



依存の怖さ

生徒の感想より

- 自分の身近でも起こりうるのだと知った。薬物に手を出してしまうのは、私たちのような思春期の人たちが多いことが分かりました。自分は薬物とは関係ないと思っていたけど、もう少し気を付けるようにしようと思いました。
- 軽い好奇心でオーバードーズをしてしまう事例があると知って驚きました。それだけでなく、他の薬物も知らぬうちに身近に潜んでいると学びました。仲のよい友達からの誘いにのったりせず、はっきり断ったり、状況を想定したシミュレーションを大切にしようと思いました。
- 今の自分に薬物など関係ないと思っていました。けれど、最近私と同じ10代の乱用が増えていることを知りました。また、薬物使用車の実体験を聞いて、怖くなりました。依存してしまったら“止めたくても止められない”が特に印象的で、そうなってしまうのがとても怖いと感じました。自分と無関係でないことを知れてよかったです。
- 薬物は怖いものだ改めて気がつきました。薬物を乱用した人が大変な思いをすることは前から知っていたけれど、実際に薬物乱用した人とその家族の話を聞いてみて、使った本人だけではなく、家族や周りの人たちを巻きこんでしまうと知り、前よりさらに薬物の恐ろしさに気づくことができました。もし、自分が乱用してしまったらと考えると辛くなりました。今回学んだことを生かし、薬物に手を出さずきっかけを作らないようにしていきたいです。